

5. くらし

	タイトル	意見等
1	徳島県警の職員の負担軽減	徳島県警の方々が屋間もパトロールなどされていますが夏場は暑く能率が低下すると思います。 徳島県警独自で屋外用に正式採用の空調服など用意できないのでしょうか？ また他都道府県のようにサングラスも認めるべきでは無いのでしょうか？
2	食品表示	〇〇店で売られているカツや天ぷらに原料原産地表示がありません。表示に書かれている住所とお店の住所が違うのでその場で作っていないと思います。これは表示違反ではないかと思います。食品表示違反の県の通報窓口が平日の電話しかなく、通報しにくいので目安箱にてお伝えします。
3	各市町村の広報誌への掲載のお願い	酷暑の時期に、屋外の日の当たる場所に犬を繋いだり、日中にお散歩をしている飼い主さんを見かけます。 県下の各市町村の8月号の広報に、以下のお知らせを掲載して下さいよう、県からご要請いただけないでしょうか。 地球温暖化により発生している夏の高温や豪雨は、人間だけではなく、動物たちにも影響を与えています。 犬の命や健康を守るため、飼い主さんは下記の点に注意をお願いします。 1. 散歩 夏の炎天下では、アスファルトの表面が60℃以上になることがあるため、肉球のやけどにつながります。散歩に行く前に路面に手を置いて、温度を確認しましょう。 また犬は、地面との距離が近いため、人間以上に暑さを感じ熱中症になりやすくなりますから、十分な注意が必要です。 ・散歩は明け方から6時ごろを目安にし、28℃になる前に帰宅。夜は熱帯夜を避け、散歩が許可されている公園や草木が茂っていない河川敷などを利用しましょう。 ・帰宅したら新鮮な水を十分に与え、涼しい部屋で体温を下げましょう。 2. 飼育環境 ・室内の涼しい場所での飼育が望ましいですが、やむを得ず屋外で飼育する場合は、一日中日光が当たらない位置か、一番日差しがきつい時間帯に日陰になる位置に、犬小屋を置きましょう。 ・犬小屋の周りを、よしずなどで覆うのも効果があり、土や芝生の上など、表面温度が上がりにくい場所もお勧めです。 ・新鮮な冷たい水が、いつでも飲めるように、氷を入れる方法もあります。 3. その他 ・外出時に犬だけを車内に残すのは、熱中症につながる恐れがあり大変危険です。 ・ノミやダニ、蚊によるフィラリア（病気）を防ぐため、お薬を飲ませましょう。 ・狂犬病予防法で義務付けられている「狂犬病予防注射」をきちんと受けさせ、「犬鑑札（又はマイクロチップ）」と「予防接種済票」を必ず首輪やハーネスに付けて下さい。 暑さの厳しい時期にペットも安全に過ごせるよう、体調管理に注意をお願いします。
4	勝浦橋の勝浦側の信号待ち車線について	道の駅雛の里勝浦へと続く土手沿いの道の方の信号待ち車線について…ぜひ改善お願いいたします。 左折と直進、右折と直進が同じ車線になっているのですが、左折と直進については混雑でもない限り、問題ないかと思うのですが、右折と直進が同じになっているのは正直怖かったです。 というのも、反対側方面から右折しようとする際、どうしても右折専用をみの車線であるという思い込みが邪魔するからです。普段よく通る人はいいいとして、たまに、とか初めて通る場合は戸惑ったり事故もありえるかと… 私も右折車の後ろに直進車がいるとは思わず、右折しようとして危うくぶつかるころでした。交通整理上の区分からそうなったと思うのですが、ぜひ右折専用レーンにするなどしていただければ幸いです…
5	自衛官変死事件の再捜査について	1999年に起きた阿南市福井町での自衛官変死事件については、捜査が打ち切れ自殺とされているようです。 しかしながら、最近Youtubeやネット記事で他殺ではないかと訴える人々が多くなっています。 特に徳大医師との見解と異なる判断を当局がしたこと疑問が多く寄せられています。 もし自殺ならもう少し丁寧な説明が必要でしょうし、他殺であるなら前知事時代に徳島県としてずっと隠蔽してきたことにもなり、違法性もあると思います。 今後現知事が進めている観光客誘致においても、この問題が県南の南あわエリアへの観光の障害となっている現実があります。 また外国人観光客が同様の事件に巻き込まれる可能性も否定できません。 ぜひ再捜査を実施し、主権者である県民が安心して暮らせる社会にしてほしいと思います。